

県内中小企業(製造業)景況動向

平成30年4月～6月期

売上高は上昇するも、業況の回復には至らず

本会調査結果概要

29年10月～12月



DI 平均値▲10.3

30年1月～3月



DI 平均値▲11.5

30年4月～6月



DI 平均値▲13.0

来期見通



DI 平均値▲9.1

業種別景況動向

食料品

10-12	1-3	4-6	来期見通
▲14.8	▲23.3	▲33.4	▲15.7

同期比の売上高DIは▲31.5、収益性DIは▲35.2で、両方を合せたDI平均値は▲33.4となり「雨」模様になっている。来期見通しは17.7ポイント上昇して▲15.7となり、再び「小雨」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲22.2、収益性DIは▲25.0となった。

また、雇用人員判断DIは14.3、設備操業率DIは▲16.7、設備投資実施率は24.5%となった。

繊維・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
▲11.6	▲8.7	1.7	▲5.1

同期比の売上高DIは6.5、収益性DIは▲3.2で、両方を合せたDI平均値は1.7となり「曇」模様に転じている。来期見通しは6.8ポイント下降して▲5.1となり再び「小雨」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲3.1、収益性DIは▲13.6となった。

また、雇用人員判断DIは19.0、設備操業率DIは▲14.3、設備投資実施率は12.9%となった。



概況

売上高と収益性を合せたDI平均値(同期比)については▲13.0となり、前回調査(30年1-3月期)の▲11.5から1.5ポイント下降している。来期見通しにおいては3.9ポイント上昇して▲9.1となっている。

売上高DI(同期比)については▲7.4となり、前回調査から1.2ポイント上昇している。来期見通しにおいては2.7ポイント上昇して▲4.7となっている。

収益性DI(同期比)については▲18.6となり、前回調査から4.2

ポイント下降している。来期見通しにおいては5.2ポイント上昇して▲13.4となっている。

業況DI(同期比)については▲11.3となり、前回調査から0.6ポイント下降している。来期見通しにおいては2.7ポイント上昇して▲8.6となっている。

原材料価格DI(前期比)については50.9となり、前回調査から4.6ポイント上昇している。

販売価格DI(前期比)については3.1となり、前回調査から3.1ポイント上昇している。

資金繰りDI(前期比)については▲10.4となり、前回調査から1.8ポイント下降し、悪化している。

金融機関の態度DI(前期比)については前回調査同様0.8となり、変化は見られない。

設備投資実施率については27.8%となり、前回調査から2.7ポイント上昇している。業種別で高い実施率となったのは「機械・機器・プラスチック製品」で、目的別では「増産」が26.8%でトップとなっている。また、来期の設備投資計画については42.4%となった。

設備操業率DI(前期比)については▲9.0となり、前回調査から1.0ポイント下降している。

雇用人員判断DI(前期比)については16.9となり、前回調査から6.1ポイント下降している。

紙・加工品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
10.8	▲10.7	15.4	11.6
同期比の売上高D Iは38.5、収益性D Iは▲7.7で、両方を合せたD I平均値は15.4となり「薄日」模様に転じている。来期見通しは3.8ポイント下降して11.6となるものの「薄日」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは61.5、収益性D Iは15.4となった。 また、雇用人員判断D Iは▲7.7、設備操業率D Iは▲7.7、設備投資実施率は33.3%となった。			

木材・木製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲35.0	▲20.8	▲18.2	▲18.2
同期比の売上高D Iは▲9.1、収益性D Iは▲27.3で、両方を合せたD I平均値は▲18.2となり「小雨」模様が続けている。来期見通しは今回調査と同じく▲18.2となり「小雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは9.1、収益性D Iは▲9.1となった。 また、雇用人員判断D Iは27.3、設備操業率D Iは▲9.1、設備投資実施率は20.0%となった。			

金属・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲13.7	▲3.1	0.1	3.0
同期比の売上高D Iは8.9、収益性D Iは▲8.8で、両方を合せたD I平均値は0.1となり「曇」模様が続けている。来期見通しは2.9ポイント上昇して3.0となるものの「曇」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは11.8、収益性D Iは7.7となった。 また、雇用人員判断D Iは30.8、設備操業率D Iは7.7、設備投資実施率は32.4%となった。			

窯業・土石製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲13.4	▲21.6	▲26.2	▲27.4
同期比の売上高D Iは▲21.4、収益性D Iは▲31.0で、両方を合せたD I平均値は▲26.2となり「小雨」模様が続けている。来期見通しは1.2ポイント下降して▲27.4となるものの「小雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲26.2、収益性D Iは▲32.4となった。 また、雇用人員判断D Iは10.8、設備操業率D Iは▲13.5、設備投資実施率は19.0%となった。			

プラスチック製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲34.7	▲22.2	▲23.1	▲15.4
同期比の売上高D Iは▲23.1、収益性D Iも▲23.1で、両方を合せたD I平均値も同じく▲23.1となり「小雨」模様が続けている。来期見通しは7.7ポイント上昇して▲15.4となるものの「小雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲23.1、収益性D Iは▲7.7となった。 また、雇用人員判断D Iは23.1、設備操業率D Iは「上昇」、「下降」とともに15.4%で0.0、設備投資実施率は38.5%となった。			

機械・機器

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
1.5	1.7	▲3.4	0.0
同期比の売上高D Iは1.7、収益性D Iは▲8.5で、両方を合せたD I平均値は▲3.4となり「曇」模様が続けている。来期見通しは3.4ポイント上昇して0.0となるものの「曇」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲16.7、収益性D Iは▲16.4となった。 また、雇用人員判断D Iは18.5、設備操業率D Iは▲7.4、設備投資実施率は40.0%となった。			